

労働力調査（基本集計）

2021年（令和3年）7～9月期平均

結果の概要

[全 国]

- ・ 就業者数は6694万人と、前年同期に比べ21万人の増加
- ・ 完全失業者数は192万人と、前年同期に比べ12万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は2.8%と、前年同期に比べ0.2ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、南関東、近畿、中国、四国及び九州は増加、沖縄は同数、北海道、東北、北関東・甲信、北陸及び東海は減少
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、東北、南関東、北関東・甲信、東海、近畿、中国及び九州は減少、北陸、四国及び沖縄は同数、北海道は増加
- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	3.3%	(0.6ポイント上昇)	近 畿	3.1%	(0.1ポイント低下)
東 北	2.5%	(0.4ポイント低下)	中 国	2.3%	(0.3 〃)
南関東	3.1%	(0.2 〃)	四 国	2.5%	(0.1 〃)
北関東・甲信	2.3%	(0.1 〃)	九 州	2.7%	(0.2 〃)
北 陸	2.1%	(前年同期と同率)	沖 縄	3.8%	(0.3ポイント上昇)
東 海	2.3%	(0.5ポイント低下)			

図 1 地域別完全失業率

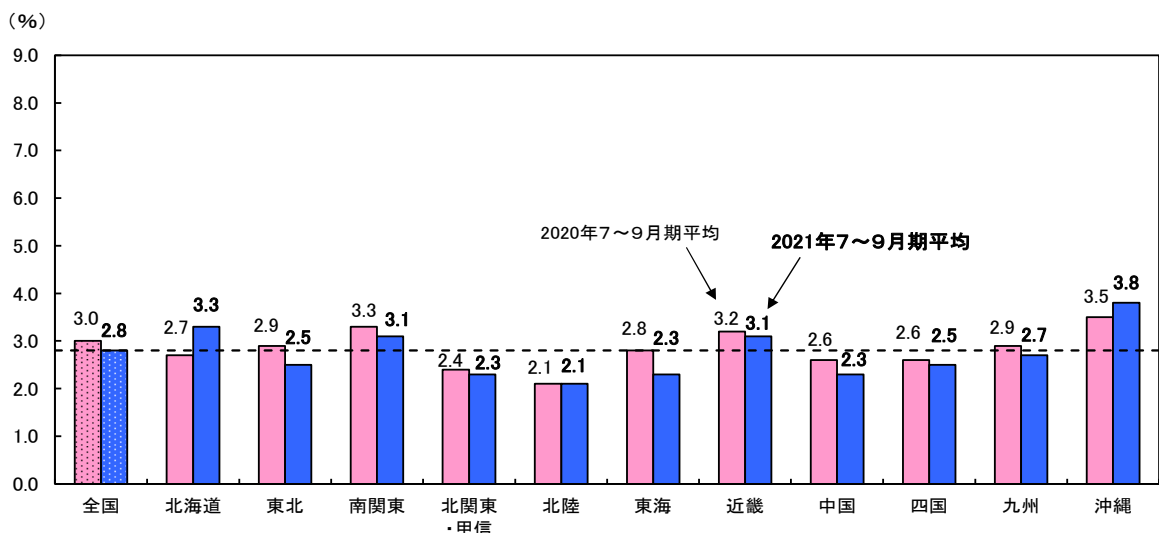


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

